

市内NPO法人数	32 団体
当センター登録団体数	147 団体
来館者数	1,406人
印刷機利用枚数	8,239枚

ひびき

発行枚数 500枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 島村宏之

10月

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。  
会議スペース・市民交流サロン・作業スペース・印刷機・紙折り機・多目的室等(1階)や  
大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)がご利用いただけます。  
開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。  
休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日

〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571

E-mail [center@ryugasaki-shiminkatsudo.net](mailto:center@ryugasaki-shiminkatsudo.net) URL <https://ryugasaki-shiminkatsudo.net>



市民団体活動紹介シリーズ No.47「龍ヶ崎地方家族会(通称ピア・かたつむり)」 目指せ！市民活動日本一

私たちは、精神障がい者を抱える家族が支え合いながら、本人と家族のしあわせのために活動している家族会です。

【活動の3つの柱…支え合い 学び合い 働きかけ】

支え合い…定例会を開催することで、同じ病気や境遇のもと頑張っている家族や心配を抱えている家族が、話し合い、励まし合い、受け入れられることによって気持ちがい楽になります。

学び合い…当事者のためにも家族自身が心に余裕をもって生活を送ることが大切です。そのために病気のことをよく理解し、適切な対応の仕方を学びます。講演会、勉強会、施設見学会を通じて、当事者への接し方、薬の知識、医師との付き合い方、社会復帰施設や福祉サービスの利用方法、就労支援、親なき後の課題など、多くの事を学びます。

働きかけ…精神障がい者と家族が地域社会で希望をもち生き生きと生活ができるように、理解と正しい知識の普及に努めます。障がい者の福祉制度の充実や権利擁護について、他の団体とも連携して行政機関に働きかけをしています。

これからも、すべての精神障がい者と家族が、地域で安心して、元気に暮らせる社会の実現を目指してまいります。  
(竹之内 090-1614-2371)



当事者・家族の集いスナップ(水戸市)  会報紙 



**ピア** かたつむり通信 第84号

発行：2020年7月1日  
緑文庫地方委員会

## 【家族会社報告】

4月26日、初めていらした民生委員会長など多くのご来賓の参加のもと開催すること出来、議案が原案通り採決されました。

初会食の後、14時30分より心算センター・アスナが福岡県児童福祉センター 中井美香様から、「障害児の権利、障害児者に対する権利」について、障害児者の権利の重要性についてお話がありました。その後、各家庭の抱えている課題について話し合ってもらい、関係する方々との連携を図ることを目指していただきました。

今年度は引き続き民生委員等、当事者・家族の抱えている課題に、家族だけでなく共産で、自分でもみんなに協力や支援も必要だと話すことができ喜びを伝える場をつくりたいですとの声がありました。

会長 竹之内博子  
副会長 山本 幸子  
事務 長尾紀一郎、大久保千子、澤本隆、豊千子、藤井由美、池上、食料監査には水上市実様が進行されました。

## 【私とピアノ】

リンダに子供が小学生の頃についていってアップリッドビルで勉強していた。  
ある日、朝早くアップリッドビルで父の家のドアの前で泣きながら自分でお父さん  
を呼ぶのをうらな、そのとき父は初めて、父親として父に話しかけた。初めて父親として  
話しかけた。初めて父親として話しかけた。初めて父親として話しかけた。初めて父親として話しかけた。

これまでの主な活動(4-6月)

[illegible]

**新しい登録団体大募集！**

市民活動センターの登録団体になると次の**特典**があります。

- ・特典1 センター内のロッカーが利用できます。(希望多数の場合抽選)
- ・特典2 市民活動センターHPにて活動アピール

市民活動センターのホームページの「市民活動掲示版」に投稿してイベントや会員募集のチラシなどを載せることができます！

- 特典3 会報誌にて団体紹介

毎月市民活動センター発行の「ひびき」の市民活動団体紹介シリーズに掲載できます。

- ・特典4 団体ポスターを館内に掲示

センター内の「登録団体紹介コーナー」に団体のイベントやポスターを掲示できます。

いつでも受付けています。



## 龍ヶ崎みらい会議プレゼンツ:トークセッション黒澤×植竹～ 報告

龍ヶ崎みらい会議プレゼンツ:トークセッション黒澤×植竹～『ねえ、あなたなんでそんなに若いのに頑張るの?』30代前半が語る地域活動でのあるある～ と題された長いタイトルの講座を市民活動センター2階大会議室に開催。参加者17名+お子様6名、講師とスタッフ4名。総計27名の参加がありました。

トークセッションの黒澤さんは利根町で子育てカフェ「ママとこcafe」を運営の黒澤七緒さん。植竹さんは石岡市在住で社会教育士、龍ヶ崎市市民活動センター企画運営アドバイザーなど多方面で活躍の植竹智央さん。

まず最初にお二人の自己紹介と活動紹介からはじまり、次に植竹さんから黒澤さんに質問する形式でトークセッションが行われました。質問にはslido(スマホアプリ)から参加者が打ち込んだものもたくさん含まれていました。黒澤さんから植竹さんへの逆パターンもありました。

10分間の休憩後は3グループに分かれ、本日のトークセッションで感じたことを話し合いました。最後にご自身が地域活動をしている中で課題と感じていることをslidoに打ち込んでもらい、それをプロジェクターで投影しました。皆さんそれぞれ悩みや課題があるようです。

今日のテーマが子育て及び子育て支援ということで、子連れのお母さんの参加が多かったです。退屈する子供は「たつのこプレーパーク遊んじゃ王」のお二人にしっかりフォローしてもらい、子供達も2時間を楽しく過ごすことが出来ました。お陰で賑やかな講座となりましたが、「子どもを除外するのではなく、親と一緒に参加することに意義があった」と植竹さん。黒澤さん植竹さんとても良い話をしていただきありがとうございました。



### 講座のご案内

#### 歩く歴史講座

#### 「竜鉄に乗ってまちなか史跡巡り～竜鉄応援プロジェクト第二弾」

般若院、鹿島神社、大統寺など市街地の北側を巡る坂道有りの4キロコース

日時:10月25日(土)午前9時～12時 雨天翌日

集合場所:関東鉄道 佐貫駅 午前9時

定員:25名(申込順)

参加費:200円(保険料・資料代/別途関東鉄道乗車券)

申込:10月10日(金)より

市民活動センター窓口及び 電話 0297-63-0030

#### 龍ヶ崎みらい会議プレゼンツ:トークセッション黒澤×植竹×酒井—10年後の茨城の非営利活動について—

若手社会福祉士、高校生たちと地域活動を行っている若手の先生、大学生たちと不登校支援を行っている若手コーディネーターの県内最前線で活躍する3人が、「福祉×教育×まちづくり」や「10年後の茨城県のボランティア活動」などについての未来を語ります。

日時:10月12日(日)午後1時30分～午後3時30分

場所:市民活動センター2階大会議室

パネリスト:長谷川 晃人氏(社会福祉士)、酒井 慶太氏(高校教員)、  
植竹 智央氏(社会教育士、龍ヶ崎市市民活動センター企画・運営アドバイザー)

定員:25名

申込み:受付中(窓口または電話)

問い合わせ:龍ヶ崎市市民活動センター 0297-63-0030

#### ○龍ヶ崎短歌会

マンホールの蓋ほどの陽がぐうらりと牛久沼に沈む河童住むらし 日野林佐智子

常総市の読売歌壇常連の人の名見えず健やかなりしや

皆川 孝子

#### ○龍ヶ崎コミュニケーションハウス俳句講座

かな文字の如き新涼胸に入れ

平澤百合子

新涼や鯛の尾びれに化粧塩

嶋岡よしみ

